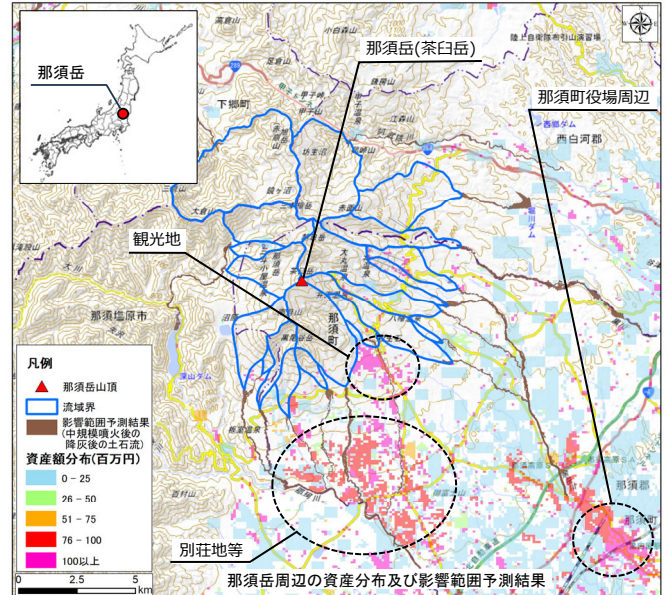


# 那須岳における緊急減災砂防計画の実効性向上に向けた取り組み



那須岳(茶臼岳): R6.4.28



## 噴火時に想定される様々な火山活動状況等に臨機応変に対応するための緊急対策ドリルの検討

噴火時の限られた時間の中で、効率的かつ臨機応変な対応を実施するために...

- ❑ 栃木県側における「中規模な噴火」に対して、優先度の高い検討パターンを選定し、緊急対策ドリルを作成
- ❑ 作成したドリルの検証・課題抽出、職員の対応能力向上のため、栃木県との合同訓練を実施
- ❑ 引き続き、福島県側における「中規模な噴火」や融雪型火山泥流に対しても、同様に緊急対策ドリルを検討

### 従来の緊急対策ドリル

- ・ 既往最大規模に対する緊急対策のみ
- ・ 対策実施の意思決定のための判断材料が不足

### 様々な『状況』(＝確定要素・不確定要素)の整理

- ・ 火山活動状況
- ・ 噴火時の気象条件等から想定される影響範囲
- ・ 対策実施に影響する制約条件
- ・ 被害の程度に影響する条件
- ・ 対策効果の早期発現に影響する条件

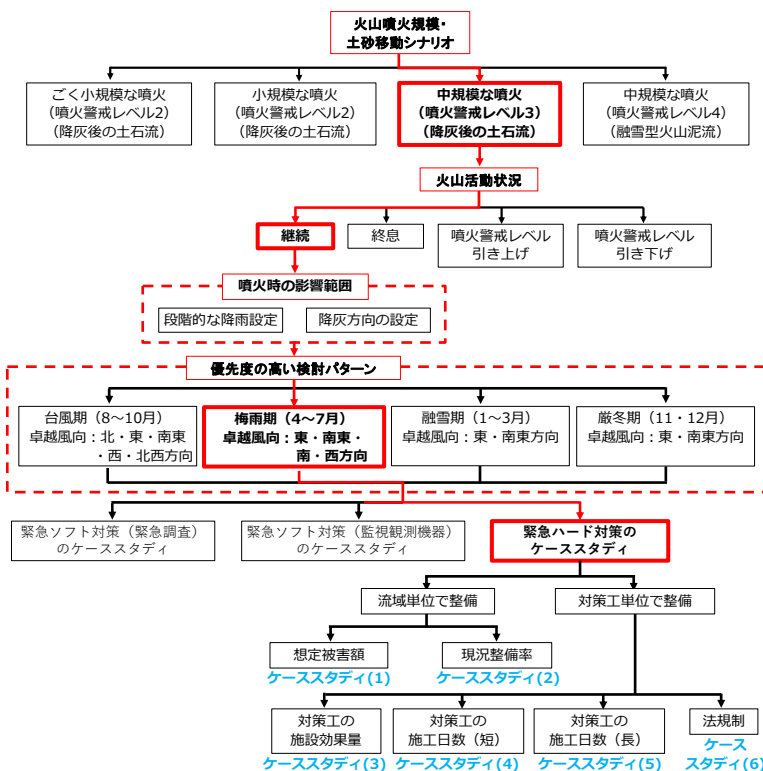
### 様々な検討パターン(＝『状況』の組合せ)が無数

### 優先度の高い検討パターンの選定

- ・ 降灰方向に応じた流域区分
- ・ 那須岳山麓の風向き
- ・ 過去の噴火による火山灰分布実績

### 緊急対策ドリルの作成

- ・ 緊急対策(緊急ソフト対策、緊急ハード対策)の検討
- ・ 各緊急対策の実施メニュー(＝ケーススタディ)の設定



: 今回の合同訓練パターン

優先度の高い検討パターンとケーススタディの設定例



合同訓練の様子: R5.11.16